2008 年度ブロック共同宣教司牧推進の歩み
「ブロック・小教区での部会制の現状と課題について」

ブロック名：京都南部地区西ブロック

提出年月日2009年2月 1 日

2008 年度の各ブロックの『共同宣教司牧』の歩みの評価は、部会制にのみ焦点をあてて作成してください。2007 年 12 月すべての教会の小教区評議会規約が整い、「新しい福音宣教」を担う教会の運営と活動を共同宣教司牧の精神で実行する体制が始まりました。2008 年に動き出した部会制は、各教会でどうだったでしょうか。「部会制」について、●その実態と感じる問題点、●部会制が持つ課題、●現在の部会活動の問題点を解決していく方法、●部会制が目指している「共同体のみんなが教会の活動を担い福音宣教していく」という目標に向かって、部会制が定着するため工夫、など。「ブロック」内の教会の部会の実態から共通する点などをまとめください。また、「ブロックの部会」（たとえば、ブロックの典礼部会など）あれば、その活動についても触れてください。

●「部会制」について　実態と感じる問題点
・一人一役の部会制は2003年にスタートしているので、かなり根付いている。
・問題点は中心メンバーの固定化と、そのための新しいメンバーの獲得。

●部会制が持つ課題
・上記に同じ

●現在の部会活動の問題点を解決していく方法
・これまで行ってきた作業は下記の通り
①各部の行う作業を一覧表で整理（2008年3月）
②ミサ後のお知らせで各部の紹介を行う（2008年3月）
③各部ごとに新人部員を随時募集
④4教会の各部がそれぞれ協力し合う。
⑤役員の仕事は各部に移動できることは移動し、負担を軽減してきた。

●「ブロックの部会」
・年の初めの合同部会では各部が、新旧部長等で会議を行っている。
・典礼部会：年間3回程あるブロックミサ後に会議。典礼の方法やいろいろな課題について情報を交換し、レベルアップを図る。
・広報部会；年間3回、ブロック広報誌を発刊。2008年秋で19号。内容は特集記事、神父の文章、信徒の信仰体験、教育部の活動報告、トピックス等。特集では共同宣教司牧を含め様々なテーマを毎回設定。
・教育部会：ブロックお泊まり会等の教会学校の行事にあたり、随時会議を行ない、協力を行っている。
・施設管理部：各教会の担当間で随時協力。
・財務：ブロック財務は、年6回のブロック役員会に同席。財務の会議は随時行っている。